

老上小学校

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブ・ラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力ある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校 目標】

○学びをふかめ 心ゆたかに 自分をみがこう～願いを持ち、自ら課題を解決しようとする子どもの育成～
合言葉「もっと老上 ずっと老上 This is OIKAMI」

【現状と課題】

○**視点1** 「スクールESDおいかみ」の実践により、自分の思いを発信し、行動できる力が育ちつつある。引き続き、仕事を多面的・多角的にとらえ、分析・整理する過程を重視した学びについて、校内研究を実践していく。
○**視点2** 総合的な学習の時間や生活科の取組を通して、地域の素材から、地域に学ぶ活動が展開されている。その内容を一歩広げ、地域へ参画する学習活動の創造をめざしていく。
○**視点3** 人権教育を基盤とし、支援を必要とする児童それぞれが抱える課題に寄り添った取組を進めている。さらに、関係機関との連携を深め、個に応じた学びの充実を図っていく。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○単元全体を通して、ICT機器を効果的に活用し、学習構想を組み立てていく。	・児童アンケート「授業がよく分かる」 強い肯定評価60%以上		
	・児童アンケート「ICT機器を使った授業は分かりやすい」 強い肯定評価70%以上		
	・児童アンケート「話し合いによる学習で学びが深まった」 強い肯定評価60%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○自ら課題解決に取り組む総合的な学習の時間や、体験活動を重視した生活科を中心に、「自己有用感」「行動・発信力」を高めていく。	・児童アンケート「課題を見つけ、自分の力で解決しようとしている」 強い肯定評価60%以上		
	・児童アンケート「地域のことを考え、地域の役に立ちたいと思っている」 強い肯定評価50%以上		
	・児童アンケート「くじけない心や立ち直ろうとする気持ちをもって生活する」 強い肯定評価55%以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○各分掌担当をきめ細やかに分散することで、それぞれの立場からやりがいを見出し、職務に専念できる環境づくりの基盤をつくる。 ○人権教育を基盤として、組織的な学校体制づくりをすすめる。	職員アンケート「学校目標に向かって、教職員一人ひとりが実践を進め、組織として機能している」 強い肯定評価50%以上		
	職員アンケート「教職員の人権感覚を磨く取組がなされている」 強い肯定評価50%以上		
	保護者アンケート「特色ある教育活動を行っている」 強い肯定評価50%以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・職員会議や校内研究の中で、職員全体での共通理解を図り、授業実践を通して、学ぶ力の向上策の検証を行う。
- ・児童アンケートを中間・後期と2回に分けて行い、学校だよりで保護者に発信する。
- ・中間評価をうけ、改善策を各分掌で検証し、改善策を職員会議で周知する。
- ・長期休業期間を利用して、人権・特支・学力・スクールESD等の研修を設ける。

今年度の取組の成果と課題

--